

CONTENTS

■ 巻頭インタビュー

2 YBC 山形放送 ニューススタジオ

特集 舞台・スタジオ照明

■ 施設例

- 6 新潟市音楽文化会館
- 8 TUF テレビユー福島 第1スタジオ
- 10 都筑公会堂

■ ライティングシーン施設例

- 12 手柄山平和公園駅
- 14 鳥羽国際ホテル
- 16 酒田市 公共施設等LED化改修業務(ESCO事業)
- 18 広島市立中央図書館
- 20 ダイキョーニシカワスクエア ソルトアリーナ防府
- 22 新庄市民球場

■ インフォメーション

24 屋外スポーツ照明向け器具のご紹介

■ インタビュー

26 照明設計支援ツール LuxDesign(ルクスデザイン)

巻頭インタビュー

YBC 山形放送 ニューススタジオ

1953年にラジオ局として開局し、1960年にテレビ放送を開始。開局以来、山形県内で最も長い歴史を持つ民間放送局として親しまれている山形放送が、「ニューススタジオ」を中心にスタジオ照明のLED化を実施。今回の改修、照明リニューアルについて、山形放送株式会社の技術局 放送技術部 統括部長の井上雄一 様にお話を伺いました。



ニューススタジオ(カメラ後方から)

山形県内で最も長い歴史を有する、地域に密着した放送局。

ーはじめに、山形放送の地域における役割や、歴史など、放送局としての特色についてお聞かせください。

井上 山形放送は、山形県内で最も長い歴史を持つ民間放送局です。1953年(昭和28年)にラジオ局として開局し、1960年(昭和35年)にテレビ放送を開始して以来、一貫して地域に密着した放送活動を続けて来ました。

また、山形放送の大きな特色は、県民の皆さまの生活に直結する情報発信を何よりも重視している点だと思います。ラジオ・テレビの両媒体を通じて、日々のニュースや生活情報をきめ細かく発信し続けていますので、ラジオのリスナーの皆さま、テレビの視聴者の皆さまとの距離感がとても近い放送局だと自負しています。

山形県の中心的なメディア拠点「山形メディアタワー」。

ー2005年から、現在の社屋である「山形メディアタワー」からテレビ放送の送出をスタートされていますが、この施設にはどのような特徴があるのでしょうか。

井上 「山形メディアタワー」は、地上9階・地下2階の総合放送施設で、山形放送のほか山形新聞もここを拠点としています。屋上には電波塔と情報カメラが設置されていて、テレビとラジオが連携した情報発信ができる構造になっています。地域ニュースはもちろん、災害時などの緊急情報も迅速かつ正確に届けられることができます。山形県の中心的な放送拠点として機能しています。

ー「山形メディアタワー」内には、今回取材させていただいた「ニューススタジオ」のほかに、ど



メインセット LEDフラッドライト①で空間に光を満たし、LEDスポットライト②で人物を照射

のようなスタジオ設備がありますか？また、どのように活用されていますか？

井上 テレビ放送では「ニューススタジオ」のほかに「制作スタジオ」を運用しています。ここでは、主に山形の生活情報や特集、地域企画などを扱う平日夕方の長寿ローカル情報番組『ピヨ卵ワイド』や、その枠内で毎週金曜日に放送されるモンテディオ山形を応援するJリーグ公式番組『KICK OFF! YAMAGATA』、さらには、日曜夕方に放送している地域情報番組の『やまがたサンデー5』などを制作しています。

「制作スタジオ」にフルカラーLEDホリゾントライトを採用。

ー今回の取材で撮影は行っていないですが、その「制作スタジオ」にはフルカラーLEDホリゾントライトが導入されたとお聞きしました。LEDホリ

ゾントライトは、どのように活用されているのでしょうか？

井上 先ほど挙げた地域情報番組の制作などで使用しています。具体的には、スタジオセットにある「窓」を模した部分から見える背景、つまり窓の外側のホリゾンに、シチュエーションや放送内容に応じて色をつけたい場合に活用しています。フルカラーLEDホリゾントライトならではの、自由度が高く豊かな色彩表現が重宝しています。

生放送の報道番組に使用される「ニューススタジオ」の照明をLED化。

ー今回取材撮影させていただいた「ニューススタジオ」はどのような番組制作に使用されているのでしょうか？

井上 主に報道番組の生放送で使用していま

す。昼の報道番組『NNNストレイトニュース』内で山形県内のニュースを伝えるローカルパートが平日11時40分から11時44分、山形県内のニュースを伝える夕方の報道番組『news every.』が平日18時15分から19時、そのほか、収録になりますが夜のスポットニュースを伝える『ニューススポット』を19時または20時台に1分間収録しています。

ー1日を通して、スタジオはどのようなスケジュールで使用されていますか？

井上 基本的には生放送がほとんどを占めていますので、昼・夕方・夜の各ニュースの本番30分程度前からカメラのセッティングを行い、そのままオンエアに臨むというサイクルです。また、時にはナレーションの収録などにもスタジオを使用しています。

ーライティングの仕込み、セッティングはどのよ

山形放送は、1953年にラジオ放送を、1960年にテレビ放送を開始した山形県を代表する民間放送局です。山形県内の民間放送では唯一、テレビ・ラジオ両方の放送を担う企業として、豪雪地帯ならではの防災情報や地域文化、祭り、農業など、山形ならではの地域に密着した話題をきめ細かく発信。県民の暮らしに寄り添い、県民とともに歩むメディアとして親しまれています。



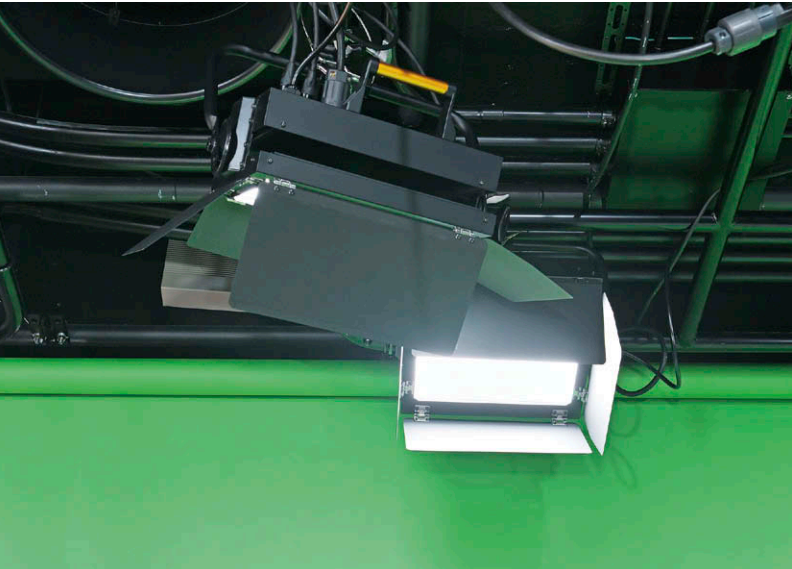
【物件概要】
所在地：山形県山形市旅籠町2-5-12 山形メディアタワー
ニューススタジオ 面積：67.2㎡
天井高：3.24m
グリッド高さ：3.0m
施主：山形放送株式会社
照明リニューアル完成：2026年1月



ニューススタジオ全景 セットと出演者の立ち位置に合わせてLEDフラッドライト①、LEDスポットライト②を配置



セット上部の照明配置 LEDフラッドライト①、LEDスポットライト②



クロマキー上部の照明配置 LEDフラッドライト①



③照明操作盤 (左) カバーを閉じた状態(右) カバーを開いた状態



④リモート再生パネル 調光操作卓に新設

うに行われていますか？
井上 「ニューススタジオ」の照明に関しては、ほぼ固定で運用しています。そのため、毎回大きな調整を行うことはありません。モニター前でキャスターが移動して解説するような場合のみ、スポットライトの微調整を行う程度です。

照明設備更新のタイミングに合わせて消費電力の削減を両立。
—今回「ニューススタジオ」の照明をLED化された目的や背景について教えてください。
井上 照明器具のLED化を実施した最も大きな理由は、設備の老朽化に伴って、更新時期を迎えていたことです。また、そうした設備の更新サイクルに加えて、会社全体としても取り組むべき消費電力の削減、CO2排出量の削減も目的でした。照明設備更新のタイミングに合わせて、消費電力の削減も両立しよう、という形です。

—具体的に、どのような器具からLED器具への更新が行われたのでしょうか。
井上 更新前は、ハロゲン500WのQスポットライト15台、ベースライトの蛍光灯10台などを使用していました。更新に当たっては、これまで地明かりとして使用していた蛍光灯をすべて撤去し、空間全体を照らすベース照明としてLEDフラッドライト16台を、出演者をピンポイントで照らすスポットライトとしてLEDスポットライト12台を、それぞれ導入しました。LEDフラッドライトは、ハロゲン1kW置き換えのタイプ、LEDスポットライトは、ハロゲン500～1kW置き換えのタイプです。
また、これらの照明器具のLED化に合わせて、照明操作盤や調光器盤も更新し、DMX/RDM通信によって、個々のLED照明器具の制御ができるようになるなど、照明システム全体としての使い勝手も向上しました。

—LED照明への更新作業や、その際の吊り込み、シューティングはどのように進められましたか？
井上 更新工事の最終段階で、外部の照明専門業者にシューティングを依頼し、弊社の技術スタッフも立ち会い、一緒にディスカッションをしながら仕込みを行いました。こうして基礎となるセッティングを固めた後は、実際の運用を重ねながら、微調整をしていった、という形です。
個々のLED器具の状態を確認できる「照明器具管理ソフト」。
—今回、タブレット端末でLED器具の状態を確認できる「照明器具管理ソフト」も導入されました。また、調光操作卓に「リモート再生パネル」を新設されました。これらの使用感はいかがでしょう。
井上 正直に言いますと、最初の設定以降は安定して稼働していることもあり、「照明器具管

理ソフト」は使用していない状態です。ただ、今後のことを考えると、長期的な使用を経てメンテナンスの時期を迎えたとき、個々のLED照明器具の点灯時間や動作状況などを、器具を取り外すことなく個別に把握できるという安心感は大きいですね。また、「リモート再生パネル」は照明のセッティングをボタンひとつで呼び出せる機構を組み込んでいただいたものですが、こちらも、これからの活用になっていくと思います。

空調費や電気代を含めた約80%の経費削減に手応え。
—省エネ効果について、事前の試算では、LED化によって空調費や電気代を含めて「約80%の経費削減」が見込まれていましたが、実際に運用された手応えはいかがですか？
井上 そうですね。電源設備コスト、空調費、電気代、照明そのもののランプ・電気代、環境税など、それら全体を含めた試算として「約80%の経費削減」というご提示をいただいていたが、数字としては実際に削減できているよう

です。今回のリニューアルを経て、これから初めての夏を迎えることになるのですが、LEDは熱を発しにくいですから、照明器具自体の電気代削減はもちろん、スタジオ内の温度上昇が抑えられることによる空調費の削減にも大きな効果を発揮してくれるのではないかと、非常に期待しています。
—本日はお忙しい中、貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございました。
(2026年4月20日 取材)

主な掲載器具一覧					
設置場所	器具名 (品種名)	形名	台数	備考	
ニューススタジオ	① LEDフラッドライト ハロゲン1kW置き換えスタンダードタイプ	AL-LED-FDHS-W	16	消費電力：115W	
	② LEDスポットライト 6型フレネル ハロゲン500～1kW置き換え	AL-LED-FSH6-W	12	消費電力：115W	
	③ 照明操作盤	—	1式	—	
	④ リモート再生パネル	—	1式	—	
制作スタジオ	フルカラーLEDアップパーホリゾントライト	AL-LED-UHE-SR1-2	6	消費電力：195W	
	フルカラーLEDローアホリゾントライト	AL-LED-LHE-SR1-2	20	消費電力：195W	
調光器盤室 (調光主幹分岐盤)	直回路盤	—	1式	—	